

重点戦略	明日を拓く成長戦略
プロジェクト	観光立県とちぎづくりプロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	本県の優位な立地条件を活かすとともに、自然、産業、文化、暮らしなどの地域資源を観光資源として有効に活用することにより、多くの人々が訪れ、交流する観光立県とちぎを目指します。
重点的取組	☆魅力あふれる観光地づくり ☆戦略的な誘客の推進

2 成果指標等の状況

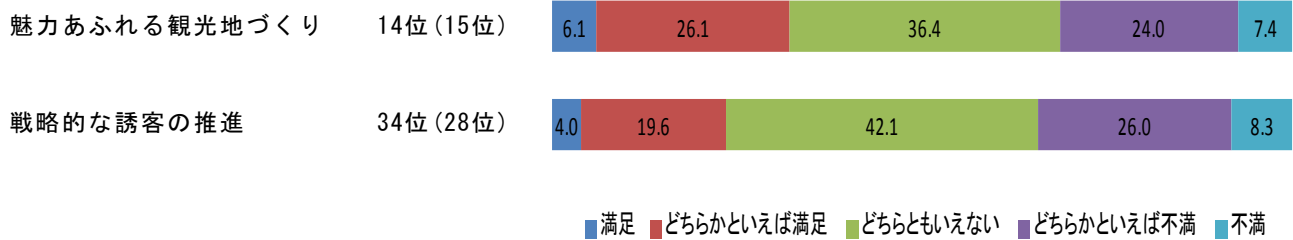
成果指標	基準 ・全国平均 ・全国順位	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	目標 H 2 7
①観光客入込数	8,341.6万人 (H21)	8,522万人	7,430万人				9,180.0万人
出典：県産業労働観光部調べ (栃木県観光客入込数・宿泊 数推定調査)	達成見込						
②観光客宿泊数	784.8万人 (H21)	800万人	647万人				840.0万人
出典：県産業労働観光部調べ (栃木県観光客入込数・宿泊 数推定調査)	達成見込						
③外国人宿泊数	10.2万人 (H21)	12万人	6万人				20.3万人
出典：県産業労働観光部調べ (栃木県観光客入込数・宿泊 数推定調査)	達成見込						

(注) 目標達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている

【成果指標の分析】

- ①②③ 東日本大震災や福島第一原子力発電所事故による風評被害等によって、観光客が減少したことから、風評被害払拭のためのキャンペーンを実施しましたが、目標達成に向けて遅れが生じています。

【県民満足度調査結果】



※順位は、「満足」及び「どちらかといえば満足」と回答した割合をもとに順位付けした。()内は昨年度の順位。

3 主な取組成果と課題

【成果】

☆魅力あふれる観光地づくり

○地域のホスピタリティ向上

《主な取組》

- ①観光振興を担う人材の育成
県内金融機関との連携による「とちぎ観光リーダー育成塾」を開催し（47名参加）、地域の観光振興のまとめ役となるリーダーやコーディネーターの育成を行いました。
- ②観光事業者をはじめとした地域全体でのおもてなしの向上
地域の観光関係者や交通事業者等からなる「とちぎ観光ホスピタリティ推進会議」において、県内の取組等について意見交換を実施したほか、ホスピタリティ意識や接客マナーの向上に向けて、栃木県観光物産協会が実施する業種別ホスピタリティ研修会に対して助成（ホテル・旅館業3回、タクシー協会2回）を行いました。
- ③行楽期の渋滞対策のためのパーク＆バスライド等の取組促進
日光市中宮祠地区において交通渋滞の解消を図るための社会実験を実施し、地元を含めた協議会で検討した結果を踏まえ、二荒橋交差点の右折レーンを延伸することとし、着手に向けた調査を行いました。

○体験型・交流型観光などの新たな旅行分野の開拓

《主な取組》

- ①エコツーリズム等地域の特性を活かした新たな旅行分野の開拓促進
観光客の滞在時間の長期化等に向けて、市町や観光協会等から成る協議会が取り組む着地型観光商品の開発、販売に対して助成を行ったほか、フィルムコミッション事業を生かし、フィルムツーリズムに向けた取組としてロケ地マップを作成し、映画館や宿泊施設等に配布しました。

☆戦略的な誘客の推進

○戦略的な誘客活動の展開

《主な取組》

- ①首都圏等におけるキャンペーン展開や旅行エージェント等へのPRなどによる誘客宣伝の強化
風評被害対策のため、県と県内市町・観光関係団体等で構成する「やすらぎの栃木路」共同宣伝協議会などとともに、誘客キャンペーン（2回）や観光PRイベント（47回）を実施したほか、県外の旅行エージェントやマスコミを訪問し（110箇所）、栃木県の観光PRを行いました。
- ②東京スカイツリータウン®内のアンテナショップを活用した効果的な情報発信
アンテナショップにおいて販売する県産品の募集や、イベントスペース利用に関する計画を策定するなど、情報発信に向けた準備を行いました。

- 北関東自動車道を活用した広域的な誘客
- 東アジアを中心とした外国人観光客の誘客対策の推進

＜主な取組＞

- ①北関東自動車道を活用した広域連携による誘客促進
北関東自動車道の全線開通によりアクセスが向上した茨城県、群馬県、長野県及び新潟県の旅行エージェントやマスコミへのPRを行った（56箇所）ほか、茨城県・群馬県と共同で、中京・阪神地区を対象としたパンフレットの作成や旅行エージェント等への訪問（12箇所）、北関東自動車道全線開通1周年イベントを開催しました。
- ②東アジアを中心とした外国人観光客の誘客対策の推進
海外の旅行エージェントやメディアなどを招き、栃木県の安全性及び観光地の魅力のPRを行ったほか、本県への訪問者数が最も多い台湾と、観光客数の増加が見込まれる中国を訪問し、風評被害の払拭及び本県への観光誘客を図りました。

【課題】

☆戦略的な誘客の推進

- 戦略的な誘客活動の展開

＜全県的な誘客活動の展開＞

観光地の宿泊者数や入込数は、風評被害等の影響から完全には回復しておらず、加えて県内地域間での回復状況にも差が生じていることが課題となっています。このため、県内全域への波及効果が見込まれる誘客対策を展開していく必要があります。